



シリーズ揃いました!

「日本の古典をよむ」全20巻 小学館／出版

古事記から雨月物語まで、様々な時代の名作古典が収録されたこのシリーズは、原文に現代語訳付で読みやすく編集されています。表紙のデザインもおしゃれで手に取りやすく、初めて古典に触れる方にも優しいオススメのシリーズです。



是非、日本の美しい文章を味わってみてください。

新着図書紹介

新しく図書館に入った本を紹介します。

一般

花のベッドでひるねして よしもと ばなな／著

中村勘三郎最期の131日 波野 好江／著

一席二聴落語で楽しむ古典文学 井口 守／著

小椋佳生前葬コンサート 小椋 佳／著

児童

おばあちゃんは大どろぼう?!

デイヴィッド・ウォリアムズ／作

動物と話せる少女リリアーネ9 上・下

タニヤ・シュテプナー／作

原子力のサバイバル1・2

ゴムドリco.／文 韓 賢東／絵

すごいサーカス

古内 ヨシ／作

今月のおすすめ本



五峰の鷹

安部 龍太郎／著 小学館

三島清十郎の顔には、幼い頃に三島家が落城するときに負った刀傷がある。16歳になった清十郎は、明国の海商・王直に会いに行くことになり…。海を奔る男たちの壮大なる戦国叙事詩。



会えてよかった

安野 光雅／著 朝日新聞出版

高峰秀子、井上ひさし、阿川佐和子、河合隼雄…。安野光雅画伯が多年の幅広い友人から50人を選び、その交友や人物を描く連続エッセイ。



キャベたまんてい きけんドラゴンたいじ

三田村 信行／作 宮本えつよし／絵 金の星社

むかしむかし、ドラゴンがすむおそろしい山があった。村人を苦しめるドラゴンを退治しようと、山に向かった騎士・キャベタマーノ。キャベたまんていによく似たキャベタマーノの正体とは?



おさかないちば

加藤 休ミ／作 講談社

寿司屋の大將に連れられて、ぼくは朝の市場に行った。そこには大きなマグロや、真っ赤なキンメダイ、おちよぼぐちのカワハギなどいろいろな魚がいて…。魚のイキのよさがあふれ出す、鮮度バツグンの絵本。

読書の扉



今年のNHK大河ドラマは「軍師官兵衛」。戦国時代、豊臣秀吉に仕えた軍師・黒田官兵衛の生涯を描いたドラマです。歴史に詳しくない方はあまり馴染みのない武将ですが、

「黒田官兵衛その生涯」(不破俊輔／著)を読むと、智略と人間愛に満ちた人物で、厳しさと優しさを持ち合わせた武将だったことを知ることができます。

児童書の物語も。「黒田官兵衛 天才軍師ここにあり」(藤咲あゆな／著) 秀吉は官兵衛を、自分の次に天下をとるのはこの男だ、とおもっていたそうです。

注目されるのは人物だけではなく、黒田官兵衛ゆかりの城といえば、姫路城。「姫路城いいとこ50」(神戸新聞総合出版センター／編) 姫路城独特の造りや敵撃退の仕掛けなど、写真で魅力的に解説した本です。その他にも図書館には黒田官兵衛関連本を所蔵しています。大河ドラマのノベライズ本も1巻から以下続刊で購入予定です。今年は、戦国武将の熱い戦いに注目です!

～図書館ではカバンをロッカーに入れましょう～

3月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

開館時間 10:00～18:00